

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 021	提案機関名 神奈川県園芸種苗対策協議会
要望問題名 在来品種の調査・収集・保存	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 在来品種の多くは限られた地域で少人数により守り育てられていますが、生産者の高齢化などにより種子の継承が困難になっています。また、本協議会の調査から「かながわゆかりの野菜」（2017）が発行されましたが、ここに記載された品種・系統以外にも存在する可能性があります。そこで、改めて調査を行い、収集・保存をお願いいたします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部署	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 野菜の作目・品種特性検定、優良種苗の保存		
対応の内容等	<p>当所では、育成品種の実種及び育種素材として収集した遺伝資源を維持増殖しており、今後も地産地消への活用の点からも遺伝資源の維持増殖を継続していきます。</p> <p>地方野菜の収集・保存につきましては、「かながわゆかりの野菜」を含め、地域にしか残っていない等保存した方が良いと考えられる遺伝資源の情報をご提供いただきたいと思います。そこで生産者等から提供された貴重な保存すべき品種・系統が見つかりましたら、生産者の意向も含めて収集や保存について検討させていただきます。</p> <p>また、地方野菜の掘り起こしについては、生産者の高齢化が進む中、重要な時期にあるものと考えておりますので、在来品種についてお持ちの情報がございましたら、農業革新支援専門員を通じて普及指導員にご提供いただきたいと思います。当課が連携し協力を行い、遺伝資源の収集や保存について検討させていただきます。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			